

議題 1_あま市地域公共交通会議の会長に該当する委員が不在となったことに伴う新会長の選任について

▼ 提案理由

あま市地域公共交通会議では、令和6年度末をもって委員を任じていた市職員の一部が退職したことにより、これまで会長を務めていた委員が任を離れることとなった。そのため、令和7年度からは新たに後任の委員を任命したものの、現時点で会長がいない状態が続いている。

地域公共交通会議の円滑な運営と今後の地域公共交通施策の推進にあたり、会議の代表となる会長の選任は喫緊の課題であることから、書面会議の形式により取り上げるものである。

▼ 提案内容

本会議の会長については、これまで市の副市長が務めており、地域公共交通に関する全体調整や関係機関との連携を図る上でも、適任であったと認識している。

一方で、近年の地域公共交通を取り巻く環境は、人口減少や高齢化、移動ニーズの多様化、デジタル技術の活用、さらには地域間連携の重要性の高まりなど、大きく変化している。今後は、こうした変化に対して、より中長期的な視点からの戦略的な議論や、実態に即した柔軟な対応力が求められている。

このような状況を踏まえ、本市ではこれまでの市幹部による会長体制に比べ、より中立性や専門性をより重視した体制への転換を図っていく検討を行った。

具体的には、現在本会議の座長を務めている有識者委員が、これまでの議論においても的確な進行と専門的な助言を行ってきた実績があり、引き続き本会議の中心的な役割を担う上でも、会長との兼務が極めて有効であると考えている。有識者委員が会長を兼務する例は他団体においても一定数存在しており、専門的な知見をもって議論を主導しつつ、地域全体の合意形成を図る体制として機能している。

加えて、本会議の事務局においても、これまで議論を主導してきた現座長が会長に選任されることにより、政策面と学識的視点の両面から会議体の方向性を明確にし、今後の地域公共交通施策をより効果的に推進できるものと考えている。

以上の理由から、今後の地域公共交通に関する施策の実効性を高め、会議体としての議論の質と整合性を担保するためにも、現委員の中から、有識者であり現座長でもある松本委員を新たな会長に選任することを提案する。

以下余白